

ESMPRO/ServerManager へ管理対象の自動登録/更新が失敗し、障害監視や復旧アクションが正常に動作しなくなる

対象バージョン: SSC3.5 以降

Q.

SigmaSystemCenter による ESMPRO/ServerManager への管理対象マシンの自動登録や更新処理が正常に動作しなかったため、障害監視やポリシーによる復旧アクションが正常に動作しません。対処方法を教えてください。

A.

ESMPRO/ServerManager(以降、ESMPRO/SM と記述します。)による管理対象マシンの障害監視の動作や障害検出時に、SigmaSystemCenter(以降、SSC と記述します。)のポリシーアクションが正常に動作していない場合、ESMPRO/SM への管理対象マシンの登録が不正になっている可能性があります。

SSC の操作実行中に、ESMPRO/SM への管理対象マシンの自動登録や更新処理が正常に動作していない場合は、「[1.現象の確認方法 \(3 ページ\)](#)」を参照して発生現象の詳細を確認し、「[2.原因と対処方法について \(7 ページ\)](#)」に記載の方法で、現象の発生原因を取り除いてください。

現象の発生原因を取り除いた後、正常に管理対象マシンの監視やポリシーが動作するように、「[3.ESMPRO/SM への再登録手順 \(12 ページ\)](#)」を参照して、ESMPRO/SM に管理対象マシンを登録し直してください。

また、業務に影響がない場合は、「[4.SSC の自動登録の動作の確認方法 \(15 ページ\)](#)」の説明を参照して、SSC から実行される ESMPRO/SM への管理対象マシンの自動登録処理の動作の確認も行ってください。

なお、管理対象マシンにインストールする Agent の製品(以降、総称として"ESMPRO の Agent 製品"と記述します。)の種類により動作や対処方法などが異なる場合は、製品別に説明を行っていますので注意してください。

製品の種類は、以下の通りです。

- ESMPRO/ServerAgent(以降、ESMPRO/SA と記述します。)
- ESMPRO/ServerAgent(SigmaSystemCenter 用)(以降、ESMPRO/SA for SSC と記述します。)
- ESMPRO/ServerAgentService(以降、ESMPRO/SAS と記述します。)

ESMPRO/SM への管理対象マシンの自動登録や更新処理は、SSC で次の操作を行った時に実行されます。

- リソース割り当て
- マスタマシン登録
- マシンの用途変更
- スケールアウト
- マシンの置換(N+1 リカバリ)

自動登録や更新処理が正常に動作しなかった場合、ESMPRO/SM の WebGUI やオペレーションウィンドウ上での管理対象の登録状態が不正になり、SSC の運用ログに異常を示すメッセージが出力されます。

管理対象マシンの登録状態が不正になると、管理対象マシンの障害監視や障害検出時のポリシーアクション(N+1 リカバリなど)が実行できないなどの影響があります。

また、SSC の自動登録の機能を使用せず、ESMPRO/SM に手動で管理対象マシンを登録する運用を行う場合、SSC のポリシー機能が正常に動作しない場合があります。手動による登録は行わず、必ず SSC の自動登録の機能を利用して運用するようにしてください。詳細は、「[6.ESMPRO/SM の手動登録を利用する運用の問題点について \(22 ページ\)](#)」を参照してください。

注

本資料では、SSC で前述の操作を実行した時に、SSC から ESMPRO/SM への管理対象マシンの自動登録や更新処理が行われる場合の利用を前提としています。

SSC からの ESMPRO/SM への管理対象マシンの自動登録機能の利用可否は、管理対象マシンの種類、環境、利用内容に依存します。以下のマニュアルを参照してください。

- SigmaSystemCenter 3.5
 - 「リファレンスガイド概要編」 「1.2.14 ESMPRO/ServerManager への登録の反映」
- SigmaSystemCenter 3.6
 - 「リファレンスガイド」 「1.2.15. ESMPRO/ServerManager への登録の反映」
- SigmaSystemCenter 3.7 以降
 - 「リファレンスガイド」 「1.2.16. ESMPRO/ServerManager への登録について」

なお、ESMPRO/SM に管理対象マシンを手動登録する利用を行う場合は、SSC 上で管理対象マシンの稼動後に、「[3.ESMPRO/SM への再登録手順 \(12 ページ\)](#)」の手順で ESMPRO/SM に登録を行います。

本資料では、ESMPRO/SM のバージョンは Ver.6.10、6.14 以降を想定しています。

※SSC3.6u1 以降は、ESMPRO/SM の Ver.6.20 以降に対応しています。

また、ESMPRO/SM Ver.6 では、本資料の目的以外でのオペレーションウィンドウの利用は非推奨です。通常の運用では、必ず WebGUI から操作を行ってください。

1.現象の確認方法

ESMPRO/SM への管理対象マシンの自動登録/更新が正常に行われたかどうかの確認は、ESMPRO/SM のオペレーションウィンドウで管理対象マシンの登録状態を確認することで行います。

ESMPRO/SM への登録/更新が失敗した場合、WebGUI やオペレーションウィンドウ上で管理対象マシンの登録に関して、以下の問題が発生します。

- 管理対象マシンのコンポーネントが登録されない。
- 管理対象マシンのコンポーネントの登録内容が不正になる。UUID の登録情報やアラート登録(死活監視)設定などが不正な内容で登録される。

また、ESMPRO/SM への登録/更新の失敗の原因は、ESMPRO/SM への自動登録/更新が行われたジョブの実行結果の運用ログの情報から推測することができます。ESMPRO/SM への自動登録/更新が行われるジョブの実行中に ESMPRO/SM への登録/更新が失敗した場合、ジョブは警告で終了します。警告時に出力される情報により、登録/更新失敗の原因が絞られます。ESMPRO/SM への登録/更新の処理が行われていない場合は、ジョブの詳細ログに ESMPRO/SM への登録/更新が行われたことが出力されません。

なお、ESMPRO/SM への登録/更新以外の他の要因でジョブが異常終了した場合も、ESMPRO/SM への未登録や不正な登録状態といった本書の説明と同様の現象が発生する場合があります。この場合の ESMPRO/SM に管理対象マシンを再登録方法については、「[3.ESMPRO/SM への再登録手順 \(12 ページ\)](#)」の説明を参考してください。

ただし、根本の問題であるジョブの異常終了の原因調査や対処について、別途実施する必要があります。原因や対処方法が不明な場合は、製品サポート窓口まで問い合わせてください。

1.1.ESMPRO/SM への管理対象マシンの登録状態を確認する

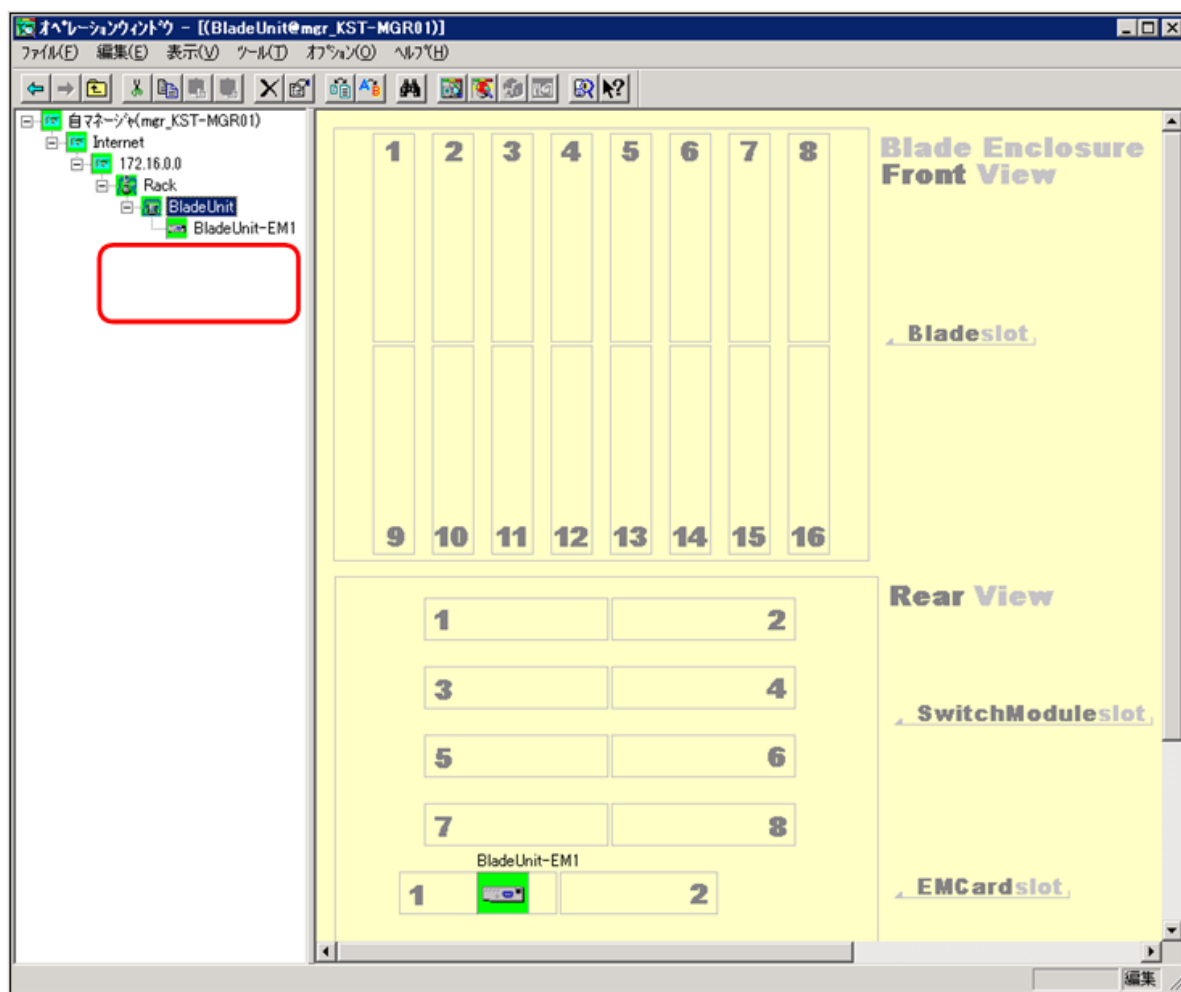
オペレーションウィンドウを起動し、管理対象マシンの登録状況を確認してください。

SSC の運用ビュー上で稼働状態になっている管理対象マシンが、オペレーションウィンドウで次の登録状態になっている場合は、問題があります。後述の「[1.2.ESMPRO/SM への自動登録/更新のジョブ実行結果を確認する \(6 ページ\)](#)」の確認を行った後、「[2.原因と対処方法について \(7 ページ\)](#)」を参照して、発生原因や対処方法を確認してください。

(1)管理対象マシンのコンポーネントが未登録

管理対象マシンのコンポーネントが登録されていない場合、問題があります。

次の画面例は、管理対象マシンのコンポーネントが登録されていない例です。



(2)管理対象マシンのコンポーネントの登録内容が不正

オペレーションウィンドウで管理対象マシンのコンポーネントを選択し、UUID とアラート登録(死活監視)の設定情報を確認してください。

- UUID の設定が不正

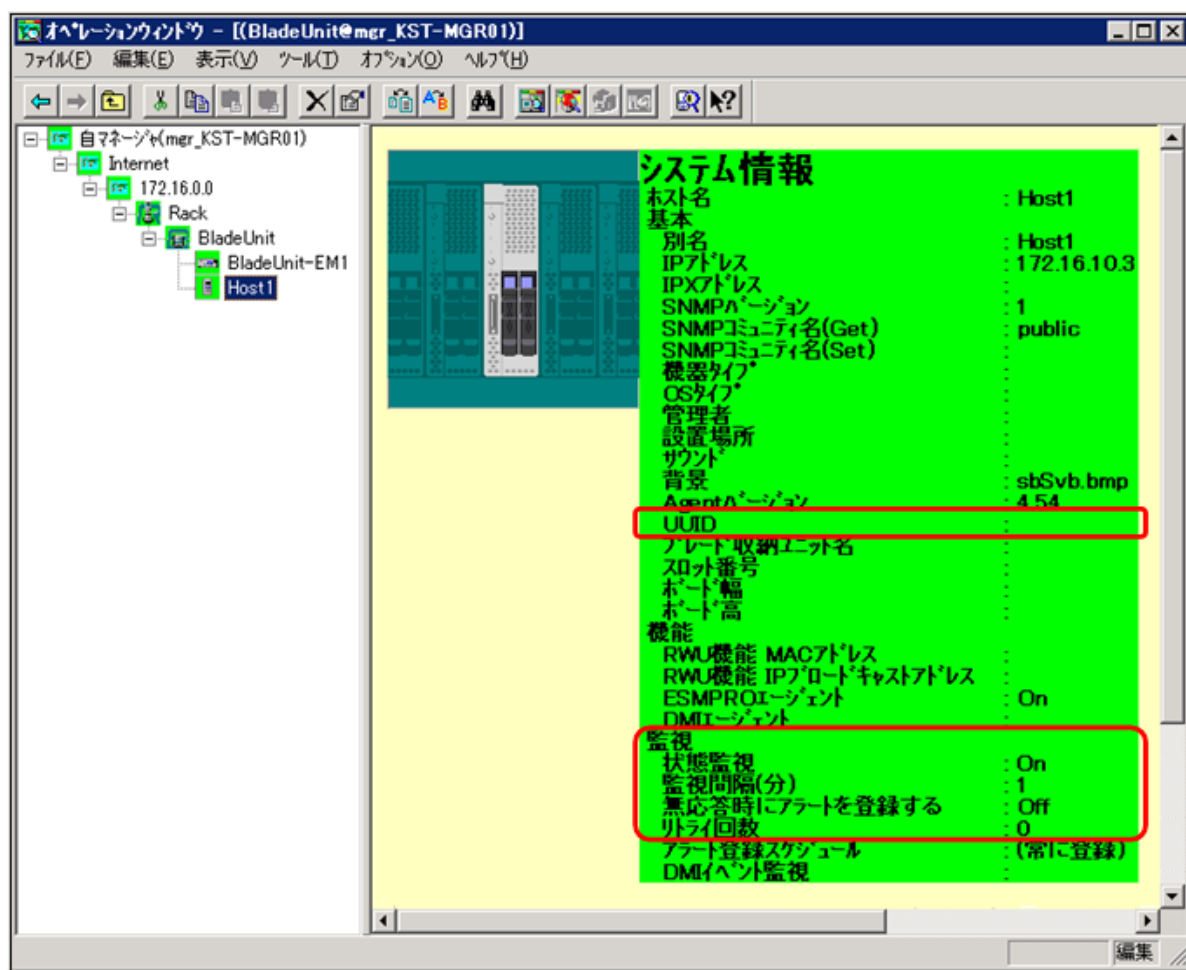
UUID の情報が空になっていたり、別マシンの UUID になっていたりした場合は、問題があります。

- アラート登録(死活監視)の設定がオフ

[無応答時にアラートを登録する]の設定情報が Off になっている場合は、問題があります。

※SSC では、管理対象マシンに対して ESMPRO/SM を使用して死活監視する設定を行っている前提とします。

次の画面例は、不正な登録状態の例です。UUID は空で、[無応答時にアラートを登録する]の設定が Off になっています。



また、正しい UUID の設定は、次のように SSC の設定情報から確認することができます。

1. [運用]ビューで運用グループを選択し、ホスト一覧上の対象の管理対象マシンのホスト名をクリックします。管理対象マシンの詳細情報が表示されます。
2. [運用情報]の[リソース]の表示をクリックすると、[リソース]ビューに切り替わり、管理対象マシンの詳細情報が表示されます。
3. [基本情報]に表示されている UUID の情報を確認します。

システムリソース > マシン > ESM-TEST > Machine1

基本情報		マシンステータス情報	
名前	Machine1	サマリステータス	✓正常
UUID	30381C00-D797-11DD-001A-001697A70340	電源状態	✓On (2013/03/11 19:29:42)
MACアドレス	00:16:97:A7:03:40	稼働ステータス	✓On
モデル名	Express5800/B120b [N8400-112]	OSステータス	✓On
種別	Unitary	ハードウェアステータス	✓正常 (状態詳細)
ベンダーID		実行ステータス	-
構成ファイル		ポリシー状態	✓全て有効
スロット番号	0	管理状態	✓管理中
タグ		メンテナンスステータス	Off
格納場所			
ユニット名			
DPMパス	/ESM-TEST/		
説明			
ハードウェア情報		Out-of-Band Management 接続情報	
CPU種別	Intel(R) Xeon(TM)	接続先	
プロセッサ	2 Socket x 2.4GHz	ユーザ名	
メモリサイズ	49152MB	接続状態	
		更新日時	

1.2.ESMPRO/SM への自動登録/更新のジョブ実行結果を確認する

WebGUI やオペレーションウィンドウ上で管理対象マシンの登録が不正な状態になっている場合は、さらに、以下の手順で、SSC で実行した操作のジョブの実行結果の詳細を確認してください。

1. Web コンソールの [監視] ビューを表示します。
2. 「ジョブ履歴」画面で、実行した操作のジョブの実行結果を確認してください。警告のジョブは黄色で表示されます。登録結果が不正な場合でも、ジョブの実行結果は正常になるケースがありますので、次の手順で詳細な確認を実施します。

監視 > ジョブ

ジョブ履歴

指定日時から、指定した日数分、ジョブを100件まで検索します。

開始日時: 2013/03/15 21:53:29 から 1 日前まで 更新 オプション

	番号	開始日時	終了日時	状態	イベント	ソース	概要
+	15624	2013/03/15 21:50:16	2013/03/15 21:52:51	Warning	UC107084	Admin-User	ジョブの実行 (マシンをグループに追加)
+	15623	2013/03/15 21:48:18	2013/03/15 21:48:25	Completed	UC107083	Admin-User	ジョブの実行 (マシンをグループから共通プールに移動)
+	15622	2013/03/15 21:28:08	2013/03/15 21:28:37	Completed	UC107082	Admin-User	ジョブの実行 (マシンをグループに追加)

← 前の期間 | 次の期間 →

- 対象ジョブのイベント列のリンク "UCXXXXX"、または "REXXXXX" をクリックします。当該ジョブの運用ログのみが表示されます。レベルは、"詳細"を選択します。
- "詳細"レベルの運用ログでは、ジョブ中に実行された各処理の実行結果の情報が表示されますので、ESMPRO/SM への登録処理に関連する情報を確認します。ESMPRO/SM への登録の情報は、「処理の開始(ESMPRO/ServerManager にマシンを登録)」と「処理の終了(ESMPRO/ServerManager にマシンを登録)」の間に表示されます。登録の処理で何らかの問題が発生した場合は、開始と終了の間にメッセージが表示されますので、そのメッセージを確認してください。

2016/05/27 15:03:13	詳細	00792-00	アクションの状況: (68%): 処理の終了 (ESMPRO/ServerManagerにマシンを登録)
2016/05/27 15:03:13	警告	00792-00	アクションの状況: (63%): マシン(172.17.0.110)を ESMPRO/ServerManagerに自動登録できませんで した。必要に応じて手動で登録して下さい。
2016/05/27 15:03:13	警告	00792-00	アクションの状況: (63%): 警告発生箇所: 自動発見の 要求
2016/05/27 15:01:59	詳細	00792-00	アクションの状況: (63%): 処理の開始 (ESMPRO/ServerManagerにマシンを登録)

2.原因と対処方法について

自動登録/更新で正常に動作しなかった場合に発生する各現象に対応する原因と対処方法を、次の表で説明します。

No	現象	現象詳細	原因	対処方法
1	<p>SSC のジョブが完了した後、ESMPRO/SM に管理対象マシンが登録されていない現象が発生する。</p> <p>ESMPRO/SM に管理対象マシンが登録されないと、以下の影響がある。</p> <ul style="list-style-type: none"> 管理対象マシンの障害監視不可 障害検出時のポリシーアクション実行不可 オペレーションウィンドウや WebGUI などでの管理対象マシンに関する詳細情報の閲覧不可 SSC 上で管理対象マシンの情報の一部が更新不可 	ESMPRO/SM への登録の実行結果に関する情報が SSC の運用ログに出力されない。	<p>ESMPRO/SM による監視が不要/不可のため、ESMPRO/SM への管理対象マシンの登録が必要ない以下の状況の場合は、処理は実行されない。</p> <ul style="list-style-type: none"> 管理対象マシンの種類が次の場合 <ul style="list-style-type: none"> 仮想マシン ESXi SSC の管理サーバに ESMPRO/SM がインストールされていない場合 SSC の運用グループの設定で ESMPRO/SM へ登録しない設定となっている場合 <ul style="list-style-type: none"> SSC3.5u1 以前: [死活監視]タブ-[ESMPRO/SM に登録する]のチェックがオフ SSC3.6 以降: [死活監視]タブ-[ESMPRO/SM にマシンを登録する]のチェックがオフ 	<p>ESMPRO/SM による監視を行わない場合は、対処は不要である。</p> <p>手動操作で ESMPRO/SM に管理対象マシンの登録作業を行っている場合は、SSC の自動登録の機能を使用する必要がある(「6.ESMPRO/SM の手動登録を利用する運用の問題点について (22 ページ)」参照)。自動登録/更新が行われるようにするには、以下の設定を行う必要がある。設定画面は、「4.SSC の自動登録の動作の確認方法 (15 ページ)」の「1. SSC の設定の確認」参照。</p> <ul style="list-style-type: none"> SSC の Web コンソールを開き、ESMPRO/SM に登録する設定を行う。 <ul style="list-style-type: none"> SSC3.5u1 以前: [運用]ビュー/運用グループの[死活監視]タブ-[ESMPRO/SM に登録する]のチェックをオンにする。 SSC3.6 以降: [死活監視]タブ-[ESMPRO/SM にマシンを登録する]のチェックをオン、[死活監視機能を有効にする]のチェックをオン、

No	現象	現象詳細	原因	対処方法
				<p>[ESMPRO/SM で行う]を選択する。</p> <ul style="list-style-type: none"> SSC の Web コンソールの [運用]ビュー/運用グループ/ホスト設定上で、登録対象マシンの管理用 IP アドレスの設定を行う。 ESMPRO/SM の WebGUI にログインし、ESMPRO/SM 上に管理対象マシンを登録する。 「3.ESMPRO/SM への再登録手順 (12 ページ)」を参照してください。
2		<p>SSC の運用ログに ESMPRO/SM への登録が実行されなかったことが出力され、ジョブは警告で終了する。</p> <p>運用ログメッセージ</p> <ul style="list-style-type: none"> 管理用 IP アドレスが未設定の為、ESMPRO/SM にマシン(<マシン名>)を登録できませんでした。 	<p>管理対象マシンのホスト設定に管理用 IP アドレスが設定されていない。</p>	<p>次に自動登録を行う時に正しく設定されるように、SSC の Web コンソールの [運用]ビュー/運用グループ/ホスト設定上で、登録対象マシンの管理用 IP アドレスの設定を行う。</p> <p>また、管理対象マシンの登録の作業を、「3.ESMPRO/SM への再登録手順 (12 ページ)」を参考に実施する。</p>
3	<p>SSC のジョブが完了した後、ESMPRO/SM に管理対象マシンが登録されていないか、登録されていたとしても、以下のように設定に問題がある。</p> <ul style="list-style-type: none"> WebGUI 上で OS IP アドレスが設定されていない、または、別マシンに登録されている。 管理対象マシンが ESMPRO/SA または ESMPRO/SA for SSC の場合 <ul style="list-style-type: none"> WebGUI 上で、サーバ監視設定の [SNMP による監視] の [サービス無応答時にアラートを登録する] が無効になっている。オペレーションウィンドウの設定も、同様に無効になる。 管理対象マシンが ESMPRO/SAS の場合 <ul style="list-style-type: none"> WebGUI 上で、サーバ監視設定の [Ping による監視] の [サービス無応答時にアラートを登録する] が無効になっている。 オペレーションウィンドウ上で、UUID が空になっている、または、異なる値が設定されている。 BMC 自動登録が可能な機種(「5.SSC からの BMC 自動登録について (21 ページ)」参照)であるが、マ 	<p>SSC の運用ログに、ESMPRO/SM への登録や更新が実行されなかったことが出力され、ジョブは警告で終了する。</p> <p>運用ログメッセージ</p> <ul style="list-style-type: none"> マシン(<IP アドレス>)を ESMPRO/ServerManager に自動登録できませんでした。必要に応じて手動で登録して下さい。 以下のいずれか <ul style="list-style-type: none"> 警告発生箇所：自動発見の要求 警告発生箇所：自動発見の状況確認 警告発生箇所：Agent 情報更新の要求 	<p>自動登録/更新時、以下の原因で、登録/更新対象の管理対象マシン上の ESMPRO の Agent 製品と通信が正常にできないため、登録/更新に失敗する。</p> <ul style="list-style-type: none"> SSC の管理用 IP アドレスの設定が、実際の管理対象マシンの IP アドレスと異なる。 管理対象マシン上に、ESMPRO の Agent 製品がインストールされていない。 管理対象マシンの SNMP Service のセキュリティ設定にて、管理サーバからの SNMP パケットが受け付けられないようになっている。 管理サーバと管理対象マシン間で行う通信で使用する管理対象マシンのアカウントとパスワードが異なるため、通信できない。(管理対象マシンが ESMPRO/SAS の場合のみ) ネットワークケーブルが切断していたり、ファイアウォールで遮断されていたりなど、管理サーバと管理対象マシン間のネットワーク経路上に問題があるため、管理サーバから管理対象マシンに接続できない。 ESMPRO/SM に管理対象マシンの自動登録/更新を行う時間が、指定のリト 	<p>登録/更新対象マシン上の ESMPRO の Agent 製品との通信不可原因を解消するために、以下の確認・対処を行った後、管理対象マシンの再登録の作業を、「3.ESMPRO/SM への再登録手順 (12 ページ)」を参考に実施する。</p> <ul style="list-style-type: none"> SSC の Web コンソールの [運用]ビュー/運用グループ/ホスト設定上で、登録/更新対象マシンの管理用 IP アドレスの設定の確認を行う。実際の管理対象マシンの IP アドレス設定と異なる場合は、正しい設定に変更する。 管理対象マシン上に ESMPRO の Agent 製品がインストールされていない場合は、インストールを行う。 <ul style="list-style-type: none"> また、SNMP サービス (Windows)や snmpd(Linux)がインストールされ、起動状態であることを確認する。(管理対象マシンが、ESMPRO/SA、または ESMPRO/SA for SSC の場合のみ) 管理サーバ(SSC)と管理対象マシン(SNMP サービス)の SNMP コミュニティ名の設定を確認し、異なる場合は、一致するように設定する。(管理対象マシンが、ESMPRO/SA、または

No	現象	現象詳細	原因	対処方法
	<p>ネージメントコントローラ管理が有効になっていない。</p> <p>ESMPRO/SM に管理対象マシンが登録されなかったり、設定に問題がある場合、以下の影響がある。</p> <ul style="list-style-type: none"> 管理対象マシンの障害監視不可 障害検出時のポリシーアクション実行不可 オペレーションウィンドウや WebGUI などでの管理対象マシンに関する詳細情報の閲覧不可 SSC 上で管理対象マシンの情報の一部が更新不可 		<p>ライ回数やリトライ間隔を超える。</p> <ul style="list-style-type: none"> 管理サーバと管理対象マシン間で行う通信で使用する SNMP コミュニティ名の設定がそれぞれ異なるため、通信できない。(管理対象マシンが、ESMPRO/SA、または ESMPRO/SA for SSC の場合のみ) 	<p>ESMPRO/SA for SSC の場合のみ)</p> <ul style="list-style-type: none"> SSC の Web コンソールの[管理]ビュー/環境設定/[その他]タブ上で、SNMP コミュニティ名の設定を管理対象マシンと同じ設定にする。 管理対象マシンが Windows の場合、SNMP サービスのプロパティの[セキュリティ]タブで、受け付けるコミュニティ名を SSC と同じ名前に設定する。コミュニティの権利は、"読取、作成"を指定する。 管理対象マシンが Linux の場合、ESMagntconf や snmpd.conf でコミュニティ名を、SSC と同じ名前に設定する。コミュニティの権利は、「READ WRITE」以上に設定する。詳細は、「ESMPRO/ServerAgent 導入チェックシート」を参照。 管理サーバと管理対象マシン間のネットワーク経路上のケーブルやネットワーク装置に障害がある場合は、復旧作業を行う。ファイアウォールで遮断されている場合は、通信できるように設定を行う。 管理対象マシン上の ESMPRO の Agent 製品の起動に時間がかかる時など、管理対象マシンの ESMPRO/SM への自動登録/更新を行う時間がかかる場合は、ESMPRO/SM への自動登録/更新のリトライ設定を見直す。 <p>運用ログの「処理の開始 (ESMPRO/ServerManager にマシンを登録)」から「処理の終了 (ESMPRO/ServerManager にマシンを登録)」までの時間が、SSC の Web コンソールの[管理]ビュー/環境設定/[その他]タブに設定されているリトライ回数とリトライ間隔を掛け合わせた時間以上である場合、ESMPRO/SM への管理対象マシンの自動登録/更新に時間がかかっている場合があるので、リトライ回数とリトライ間隔を大きな値に変更する。</p>

No	現象	現象詳細	原因	対処方法
				<ul style="list-style-type: none"> 管理サーバ(SSC)と管理対象マシンのアカウントとパスワードを確認し、異なる場合は、一致するように設定する。(管理対象マシンが、ESMPRO/SAS の場合のみ) また、BMC 自動登録が不可の機種の場合、事前に ESMPRO/SM 上でマネージメントコントローラ管理を手動で有効にしているか確認する。BMC 自動登録対応の機種の場合、SSC から自動で行うことが可能なので、手動での設定は不要。「5.SSC からの BMC 自動登録について (21 ページ)」を参照。 SSC の Web コンソールの[運用]ビュー/グループ/対象ホストのプロパティの[ホストプロファイル]タブで、ローカルアカウント設定のアカウントとパスワードが管理対象マシンと同じであることと、[制御に使用する]-[WS-MAN]にチェックが入っていることを確認する。 またアカウントは管理者権限であるかを確認する。 管理対象マシンのアカウントとパスワードが、SSC の Web コンソールで設定したものと同じであることを確認する。アカウントがローカルアカウントであることを確認する。
4		<p>自動登録/更新時、以下の原因で、登録/更新対象の管理対象マシン上の BMC(iLO)と通信が正常にできないため、マネージメントコントローラ管理の登録/更新に失敗する。</p> <ul style="list-style-type: none"> SSC の OOB 管理の接続先 IP アドレスの設定が、実際の管理対象マシンの BMC(iLO)の IP アドレスの登録と異なる。 SSC の OOB 管理の接続アカウント、パスワードの設定が、実際の管理対象マシンの BMC(iLO)のアカウント、パスワードの登録と異なる。 ネットワークケーブルが切断していたり、ファイアウォールで遮断されていたりなど、管理サーバと管理対象マシン間のネットワーク経路上に問題がある。 	<p>自動登録/更新時、以下の原因で、登録/更新対象の管理対象マシン上の BMC(iLO)と通信が正常にできないため、マネージメントコントローラ管理の登録/更新に失敗する。</p> <ul style="list-style-type: none"> SSC の OOB 管理の接続先 IP アドレスの設定が、実際の管理対象マシンの BMC(iLO)の IP アドレスの登録と異なる。 SSC の OOB 管理の接続アカウント、パスワードの設定が、実際の管理対象マシンの BMC(iLO)のアカウント、パスワードの登録と異なる。 ネットワークケーブルが切断していたり、ファイアウォールで遮断されていたりなど、管理サーバと管理対象マシン間のネットワーク経路上に問題がある。 	<ul style="list-style-type: none"> SSC の Web コンソールの[リソース]ビューで対象のマシンを選択し、マシンプロパティの[アカウント情報]タブの接続設定の以下の項目について確認を行い、問題がある場合は設定を変更する。「5.SSC からの BMC 自動登録について (21 ページ)」参照。 接続先の IP アドレスが、管理対象マシンの BMC(iLO)の IP アドレスになっているか BMC(iLO)のアカウントとパスワードが、管理対象マシンの BMC(iLO)上の登録と同じかどうか 管理サーバと管理対象マシンの BMC(iLO)間のネットワーク経路上のケーブルやネットワーク

No	現象	現象詳細	原因	対処方法
			<p>題があるため、管理サーバから管理対象マシンのBMC(iLO)に接続できない。</p> <ul style="list-style-type: none"> ESMPRO/SM と iLO 間の SSL 通信において、サーバ側の iLO には自己署名証明書(デフォルト)を登録しているが、クライアント側の ESM/PRO/SM 上で自己署名証明書の使用を不可にしている。 	<p>装置に障害がある場合は、復旧作業を行う。ファイアウォールで遮断されている場合は、通信できるように設定を行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> iLO との通信に自己署名証明書を使っている、ESMPRO/SM の WebGUI の[環境設定]で[iLO との通信]の[自己署名証明]を「許可しない」になっている場合は、以下のいずれかの処置を行う。 <ul style="list-style-type: none"> 認証局から証明書を取得し、iLO に登録する。詳細は、「iLO5 ユーザーズガイド」を参照。 自己署名証明書を利用する場合は、ESMPRO/SM の WebGUI の[環境設定]で、[iLO との通信]の[自己署名証明]を「許可する」に変更する。
5		<p>SSC の運用ログに、ESMPRO/SM 上の登録の更新が実行されなかったことが出力され、ジョブは警告で終了する。</p> <p>運用ログメッセージ</p> <ul style="list-style-type: none"> マシン(<IP アドレス>)を ESM/PRO/ServerManager に自動登録できませんでした。必要に応じて手動で登録して下さい。 警告発生箇所: Agent 情報更新の要求 	<p>ESMPRO/SM に登録されている管理対象マシンの情報に以下の不正がある場合、管理対象マシンの登録の更新が失敗する。</p> <ul style="list-style-type: none"> オペレーションウィンドウに登録されている置換元マシンの UUID が空だった場合 <ul style="list-style-type: none"> 前回のマシンの置換の操作で、何らかの原因により自動登録/更新が失敗し、UUID が空になった状態のまま次のマシンの置換の操作を実行しようとした場合等が考えられる。 	<p>ESMPRO/SM 上の管理対象マシンの登録に問題があるので、再登録の作業が必要である。「3.ESMPRO/SM への再登録手順 (12 ページ)」を参考に、再登録の作業を実施する。</p>
6		<p>SSC の運用ログに、ESMPRO/SM への登録の更新が実行されなかったことが出力され、ジョブは警告で終了する。</p> <p>運用ログメッセージ</p> <ul style="list-style-type: none"> マシン(<IP アドレス>)を ESM/PRO/ServerManager に自動登録できませんでした。必要に応じて手動で登録して下さい。 以下のいずれかのメッセージ。 <ul style="list-style-type: none"> 警告発生箇所: 自動発見の状況確認 登録後の初期設定に失敗しました。 	<p>ESMPRO/SM に登録されている管理対象マシンの情報に以下の不正がある場合や、更新処理を行うサービスなどの動作に問題がある場合、管理対象マシンの登録の更新が失敗する。</p> <ul style="list-style-type: none"> 更新対象の管理対象マシンがオペレーションウィンドウに登録されていて、ESMPRO/SM の WebGUI に登録されていなかった場合、既に登録情報が不正なため、更新処理はエラーとなる。 <ul style="list-style-type: none"> WebGUI が提供されていない SSC 2.1 以下からアップグレードを行った場合、WebGUI に手動で管理対象マシンを登録する作業が必要となるが、実施していない。 	<p>以下の対処を行った後、管理対象マシンの再登録の作業を「3.ESMPRO/SM への再登録手順 (12 ページ)」を参考に実施する。ESMPRO/SM 上で管理対象マシンの登録の設定が不正になっていることが原因の場合は、再登録の作業のみで解決できる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ESMPRO/SM Common Component サービスが停止している場合は、停止原因を取り除いた後、サービスを起動する。 ESMPRO/SM 上で[定期的]に自動発見を行う]設定が有効な場合は、設定を無効にする。

No	現象	現象詳細	原因	対処方法
			<ul style="list-style-type: none"> 同一の管理対象マシンの登録について、オペレーションウィンドウに登録されている UUID の情報と、WebGUI に登録されている GUID の情報が一致していない場合、更新処理はエラーとなる。 サービスが起動していないなどの原因により、登録/更新処理を行う ESMPRO/SM Common Component サービスへ SSC から接続ができない。 SSC から行われる自動登録・更新処理とは別に ESMPRO/SM の自動発見の処理が同時に実行された場合、管理対象マシンの登録状態に不整合が発生し、エラーとなる。ESMPRO/SM 上で[定期的 に自動発見を行う]設定が有効な場合、発生する。 	
7	SSC のジョブが完了した後、ESMPRO/SM 6 の WebGUI における管理対象マシンの登録先グループが"root"になってしまう。 管理対象マシンの障害監視や詳細情報閲覧の機能は、正常に利用できている。	WebGUI の"root"以外のグループ上に管理対象マシンを登録している場合、SSC から割り当て解除の操作により、ESMPRO/SM 上で管理対象マシンの登録が削除されてしまう。この後、マスターマシン登録等の操作により、ESMPRO/SM に管理対象マシンを登録した時、新規の登録になるため、登録先が"root"になってしまう。 「N+1 リカバリ」やマシンの置換では、管理対象マシンの登録の削除は行われず、登録の更新のみが行われるため、上記の現象は発生しない。	ESMPRO/SM 5 以降の WebGUI については、SSC から管理対象マシンの登録先のグループを指定することはできない。 そのため、自動登録が伴う操作が実行された場合、必ず"root"上に管理対象マシンが登録される。	回避方法はないが、表示上の問題のみのため、現象が発生した状態のままでも障害監視の機能に影響はない。 管理対象マシンを"root"以外のグループ上に登録したい場合は、SSC の操作が終わった後に、ESMPRO 6 の WebGUI 上で移動先のグループへ管理対象マシンの移動の操作を行う必要がある。

3.ESMPRO/SM への再登録手順

登録/更新に失敗し、ESMPRO/SM に登録されていない、あるいは不正な登録状態になっている管理対象マシンを ESMPRO/SM に正しく登録するための手順について、説明します。

「[2.原因と対処方法について \(7 ページ\)](#)」の表を確認し、自動登録/更新の失敗原因を解消した後に、本手順を実施してください。

失敗原因の解消後、SSC から実行される自動登録/更新の処理が正しく動作するかどうかを確認する場合は、「[4.SSC の自動登録の動作の確認方法 \(15 ページ\)](#)」を参照してください。

1. 管理対象マシンの登録の削除

- a. ESMPRO/SM の WebGUI にログインします。

- b. 所属グループの[グループ情報] タブの[コンポーネント一覧] を選択します。
- c. 不正な登録状態となっている管理対象マシンに対応するコンポーネントの行の左端のチェックをオンにし、[削除] をクリックします。
- d. オペレーションウィンドウを起動し、削除対象のマシンに対応するコンポーネントが存在しないことを確認します。存在する場合は、オペレーションウィンドウより対象コンポーネントのアイコンを選択し、Delete キーを押します。

2. 管理対象マシンの再登録

- a. ESMPRO/SM の WebGUI にログインします。
- b. [グループ情報] タブの[コンポーネントの追加] - [自動登録] を選択します。
- c. IP アドレス範囲指定検索で、削除した対象コンポーネントの IP アドレスを含む範囲を指定します。管理対象マシンが、ESMPRO/SA または ESMPRO/SA for SSC の場合は SNMP(ESMPRO/ServerAgent)を、ESMPRO/SAS の場合は WS-Man を有効にします。
- d. 必要に応じて各項目の設定を行い、[検索] をクリックします。
- e. 検索結果は、[登録されたコンポーネント] - [設定タブ] - [接続設定]で確認することができます。手順 c.で有効にした各管理機能が、「登録<有効>」になっていることを確認してください。

※なお、登録対象の管理対象マシンに、ESMPRO/SA for SSC または ESMPRO/SAS がインストールされている場合、ESMPRO/SM のマネージメントコントローラ管理の有効化が必要です。マネージメントコントローラ管理の登録がない場合、ハードウェア情報が参照できません。

ESMPRO/SA を利用している場合は、必要に応じてマネージメントコントローラ管理の設定をしてください。

ESMPRO/SM Ver.6.16 までの自動登録画面

root > コンポーネントの追加 > 自動登録 [RAIDシステム管理モード:アドバンスドモード]

グループ情報

グループ情報

- コンポーネント一覧
- グループ情報
- アラート状態
- グループの追加
- コンポーネントの追加
- 自動登録**
- 手動登録
- 拡張ライセンス一覧

項目名	設定値
登録先グループ	root ▼
検索範囲	
検索モード	<input checked="" type="radio"/> IPアドレス範囲指定検索 <input type="radio"/> ネットワークアドレス検索
開始アドレス [必須]	172 . 16 . 10 . 3
終了アドレス [必須]	172 . 16 . 10 . 4
SNMP (ESMPRO/ServerAgent)	
検索	<input checked="" type="radio"/> 有効 <input type="radio"/> 無効
SNMPコミュニティ名 [必須]	public
WS-Man	
検索	<input type="radio"/> 有効 <input checked="" type="radio"/> 無効
RAIDシステム管理機能	
検索	<input type="radio"/> 有効 <input checked="" type="radio"/> 無効
ExpressUpdate機能	
検索	<input type="radio"/> 有効 <input checked="" type="radio"/> 無効
BMC(EXPRESSSCOPEエンジン)	
検索	<input checked="" type="radio"/> 有効 <input type="radio"/> 無効
ExpressUpdate機能	<input type="radio"/> 有効 <input checked="" type="radio"/> 無効
認証キー [必須] <input type="button" value="追加"/>
Intel(R) vPro(TM) Technology	
検索	<input type="radio"/> 有効 <input checked="" type="radio"/> 無効

ESMPRO/SM Ver.6.20 以降の自動登録画面

root > コンポーネントの追加 > 自動登録 [RAIDシステム管理モード:アドバンスドモード]

グループ情報 **サーバー一括操作** **スケジュール**

グループ情報

- コンポーネント一覧
- グループ情報
- アラート状態
- グループの追加
- コンポーネントの追加
- 自動登録**
- 手動登録
- 拡張ライセンス一覧

項目名	設定値
登録先グループ	root ▼
検索範囲	
検索モード	<input checked="" type="radio"/> IPアドレス範囲指定検索 <input type="radio"/> ネットワークアドレス検索
開始アドレス [必須]	172 . 16 . 10 . 3
終了アドレス [必須]	172 . 16 . 10 . 4
SNMP (ESMPRO/ServerAgent)	
検索	<input type="radio"/> 有効 <input checked="" type="radio"/> 無効
WS-Man	
検索	<input checked="" type="radio"/> 有効 <input type="radio"/> 無効
ユーザ/パスワード [必須]	Administrator / <input type="button" value="追加"/>
RAIDシステム管理機能	
検索	<input type="radio"/> 有効 <input checked="" type="radio"/> 無効
ExpressUpdate機能	
検索	<input type="radio"/> 有効 <input checked="" type="radio"/> 無効
BMC(EXPRESSSCOPEエンジン)	
検索	<input type="radio"/> 有効 <input checked="" type="radio"/> 無効
⚠ BMC(EXPRESSSCOPEエンジン)/ILOの管理を行わない場合、装置によってはハードウェア監視を行えない場合があります。装置ごとの詳細については自動登録結果画面を参照してください。	
ILO	
検索	<input checked="" type="radio"/> 有効 <input type="radio"/> 無効
ユーザ/パスワード [必須]	Administrator / <input type="button" value="追加"/>
Intel(R) vPro(TM) Technology	
検索	<input type="radio"/> 有効 <input checked="" type="radio"/> 無効

3. 死活監視の設定の有効化

- ESMPRO/SM の WebGUI にログインし、登録した管理対象マシンのコンポーネントを選択します。
- [設定]タブの[死活監視設定]を選択します。

- c. 管理対象マシンが ESMPRO/SA または ESMPRO/SA for SSC の場合、編集ボタンをクリックし、[SNMP による監視]の[状態監視]と[サービス無応答時にアラートを登録する]を有効にします。

管理対象マシンが ESMPRO/SAS の場合、プロトコルが Ping の編集ボタンをクリックし、[Ping による監視]の[死活監視]と[サーバ無応答時にアラートを登録する]を有効にします。

- d. [監視間隔]の[監視間隔(1-100 分)]と[アラートの抑制]の[リトライ回数(1-100 回)]を、SSC の運用グループ・プロパティの[死活監視]タブの[サーバ状態監視間隔]と[サーバダウン検出リトライ回数]の設定と同じ値に変更します。
- e. [適用]をクリックします。

管理対象マシンが ESMPRO/SA または ESMPRO/SA for SSC の場合

項目名	設定値
SNMPによる監視	
状態監視	<input checked="" type="radio"/> 有効 <input type="radio"/> 無効
サービス無応答時にアラートを登録する	<input checked="" type="radio"/> 有効 <input type="radio"/> 無効
Pingによる監視	
死活監視	<input type="radio"/> 有効 <input checked="" type="radio"/> 無効
監視間隔	
監視間隔 (1 - 100 分) [必須]	1 分
アラートの抑制	
リトライ回数 (0 - 100 回) [必須]	0 回
スケジュールフォーム	(常に登録) ▼
適用 キャンセル	

管理対象マシンが ESMPRO/SAS の場合

項目名	設定値
Pingによる監視	
死活監視	<input checked="" type="radio"/> 有効 <input type="radio"/> 無効
サービス無応答時にアラートを登録する	<input checked="" type="radio"/> 有効 <input type="radio"/> 無効
監視間隔	
監視間隔 (1 - 100 分) [必須]	1 分
アラートの抑制	
リトライ回数 (0 - 100 回) [必須]	0 回
スケジュールフォーム	(常に登録) ▼
適用 キャンセル	

4.SSC の自動登録の動作の確認方法

「3.ESMPRO/SM への再登録手順 (12 ページ)」に記載の ESMPRO/SM を直接操作する方法により、ESMPRO/SM への管理対象マシンの登録は復旧できますが、SSC からの操作により ESMPRO/SM への自動登録/更新が正常に行われるかどうかを確認できません。

運用中の業務などに影響がない場合は、SSC からの操作により処理が正常に行われるかどうかを確認してください。

自動登録/更新の失敗原因を解消した後、以下の手順を参考に、SSC から自動登録処理の動作を確認してください。

1. SSC の設定の確認

ESMPRO/SM の関連の基本的な設定は、以下の通りです。「[2.原因と対処方法について \(7 ページ\)](#)」の表に記載の対処方法を未実施の場合は、実施してください。

a. ESMPRO/SM への登録の有効化設定確認

SSC の Web コンソールの[運用]ビュー/グループプロパティの[死活監視]タブの設定を確認します。

SSC3.5, SSC3.5u1

SSC から ESMPRO/SM へ管理対象マシンの自動登録が行われるようにするためには、[ESMPRO/SM にマシンを登録する]のチェックが必要です。

なお、[死活監視機能を有効にする]のチェックを行うと、[ESMPRO/SM にマシンを登録する]のチェックが無効になりますので注意してください。ESMPRO/SM による死活監視は、[ESMPRO/SM にマシンを登録する]のチェックで有効になります。

グループプロパティ設定

全般 モデル ストレージ ソフトウェア ネットワーク設定 LB設定 ホストプロファイル VM最適化配置 VM配置制約 データストア設定 **死活監視** 性能監視 カスタム

グループで稼働するマシンを ESMPRO/SM に登録する場合は、チェックボックスをオンにしてください。
ESMPRO/SM に登録したマシンの死活監視は、ESMPRO で行います。

☒ **ESMPRO/SM に登録する**

ESMPRO/SM にマシンを登録する際、ESMPRO/SM の「サーバ状態監視間隔」、「サーバダウン検出リトライ回数」を指定した値に変更します。
仮想マシン、ESXi は ESMPRO/SM に登録しないため、本設定は無効です。
値を指定しない場合は、ESMPRO/SM の既定値となります。ただし、マシン置換の際は、置換するマシンの設定値を引き継ぎます。

☐ 値を指定する

サーバダウン検出リトライ回数 回

サーバ状態監視間隔 分

死活監視機能を利用する場合は、チェックボックスをオンにしてください。

☒ **死活監視機能を有効にする**

この運用グループで使用する監視方法を設定します。選択した監視全てに成功した場合、正常と判断します。

☐ Ping 監視

☒ Port 監視

監視ポート

ヒント: カンマで区切る事で複数のポートを指定できます。
全ポートに接続できると正常と判断します。

☐ 仮想化基盤監視

ヒント: この設定は Hyper-V, XenServer, KVM に対する仮想化基盤監視を有効/無効にします。

適用 戻る

SSC3.6 以降

SSC から ESMPRO/SM へ管理対象マシンの自動登録が行われるようにするためには、[ESMPRO/SM にマシンを登録する]のチェックが必要です。

また、ESMPRO/SM による死活監視が必要な場合は、[死活監視機能を有効にする]のチェックを行い、[ESMPRO/SM で行う]を選択します。

グループプロパティ設定

全般 モデル ストレージ ソフトウェア ネットワーク設定 LB設定 ホストプロファイル VM最適化配置 VM配置制約 データストア設定 **死活監視** 性能監視 カスタム

グループで稼動するマシンを ESMPRO/SM に登録する場合は、チェックボックスをオンにしてください。
仮想マシン、ESXi は ESMPRO/SM に登録しないため、本設定は無効です。

☒ ESMPRO/SM にマシンを登録する

死活監視機能を利用する場合は、チェックボックスをオンにしてください。
☒ 死活監視機能を有効にする

ESMPRO/SM で行う

ESMPRO/SM の「サーバ状態監視間隔」、「サーバダウン検出リトライ回数」を指定した値に変更します。
値を指定しない場合は、ESMPRO/SM の既定値となります。ただし、マシン置換の際は、置換するマシンの設定値を引き継ぎます。

☐ 値を指定する

サーバダウン検出リトライ回数 回

サーバ状態監視間隔 分

System Provisioning で行う

この運用グループで使用する監視方法を設定します。選択した監視全てに成功した場合、正常と判断します。

☐ Ping 監視

☐ Port 監視

監視ポート

ヒント: カンマで区切る事で複数のポートを指定できます。
全ポートに接続できると正常と判定します。

☐ 仮想化基盤監視

ヒント: この設定は Hyper-V、XenServer、KVM に対する仮想化基盤監視を有効/無効にします。

適用 戻る

b. 管理対象マシンへのアクセスに使用する IP アドレスの設定確認

SSC の Web コンソールの[運用]ビュー/ホスト設定の[ネットワーク]タブで、[管理用 IP アドレス]の設定を確認します。管理用 IP アドレスは、ESMPRO/SM から管理対象マシンへのアクセスに使用されます。

ホスト設定

全般 **ネットワーク** ストレージ ソフトウェア マシンプロファイル ホストプロファイル 死活監視 性能監視 カスタム

IPアドレスを設定してください。IPアドレスを設定しない場合、IPアドレス自動取得になります。

NIC一覧

	NIC 番号	IPアドレス	マスク/プレフィックス長	デフォルトゲートウェイ	編集
<input type="checkbox"/>	1	172.16.0.91	255.255.0.0	172.16.0.1	

追加 | 削除

管理用IPアドレス ▼

戻る

c. OS アクセスに使用するアカウントの設定の確認

管理対象マシンに ESMPRO/SAS をインストールしている場合、ESMPRO/SM が OS アクセスに使用するアカウントの設定が必要です。

SSC の Web コンソールの[運用]ビューのグループプロパティ、またはホスト設定の[ホストプロファイル]タブにて、WS-MAN 管理を有効にしたアカウントを追加します。[ローカルアカウント編集]で、[制御に使用する]、[WS-MAN]のチェックが必要です。

グループプロパティ設定 戻る

全般 モデル ストレージ ソフトウェア ネットワーク設定 LB設定 **ホストプロファイル** 死活監視 性能監視 カスタム

OS種別

☐ 公開されたプロファイルを利用する

[既存のプロファイルからコピーする](#)

☒ **OS設定**

定義場所 グループ

OS名

ローカルアカウント設定

アカウント	パスワード	グループ	ビルトイン管理者	制御用	編集
<input type="checkbox"/> Administrator	-	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	

| [アカウント追加](#) | [アカウント削除](#) |

Sysprep応答ファイル

Owner名

組織名

タイムゾーン

プロダクトキー

ライセンスモード ☐ 同時接続サーバー ☐ ワークグループ

ワークグループ設定

ワークグループ(ドメイン名)

ドメインアカウント

ドメインパスワード

ローカルアカウント編集 ✕

アカウント

☐ パスワード更新

パスワード

パスワード(確認用)

グループ

☒ **制御に使用する**

☒ OSの操作

☒ **WS-MAN**

OK キャンセル

d. SNMP コミュニティ名の確認

管理対象マシンに ESMPRO/SA をインストールしている場合、SNMP コミュニティの設定が必要です。

SSC の Web コンソールの[管理]ビューの[環境設定]の[その他]タブの[SNMP コミュニティ名]の設定にて、管理対象マシンと同じ設定をします。

管理 > 環境設定

環境設定

全般 通報 ログ 仮想リソース 表示 死活監視 **その他**

ESMPRO/ServerManager が管理対象マシンのESMPRO/ServerAgent と通信するときに使用するSNMPのコミュニティ名を入力してください。

SNMPコミュニティ名

ESMPRO/SMにマシンを登録する際のリトライ回数、間隔を設定します。

リトライ回数

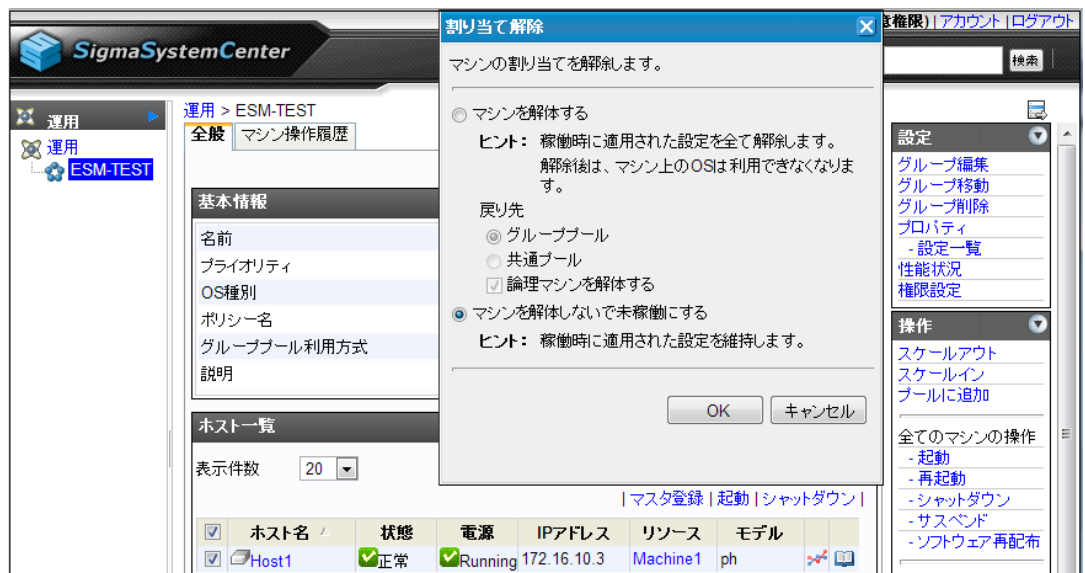
リトライ間隔 ミリ秒

e. BMC 自動登録の設定確認

BMC 自動登録が可能な機種については、マネージメントコントローラ管理の登録も自動で可能です。「[5.SSC からの BMC 自動登録について \(21 ページ\)](#)」を参照してください。

2. 管理対象マシンの[割り当て解除]の操作を実行

- a. SSC の Web コンソールの[運用]ビュー/[ホスト一覧]上で、対象のホストをチェックします。
- b. [個別操作]→[割り当て解除]を実行します。[割り当て解除]時に指定するオプションは、[マシンを解体しないで未稼動にする]を選択してください。指定オプションの管理対象マシンへの影響については、後述の説明を参照してください。
- c. 割り当て解除の処理中に、ESMPRO/SM から管理対象マシンの登録削除の処理が実行されます。マネージメントコントローラ管理を有効にしている場合は、ESMPRO/SM 上の管理対象マシンの登録は削除されず、[設定]タブの[SNMP(ESMPRO/ServerAgent)/WS-Man] の [管 理] が 「 未 登 録 」 、 [BMC(EXPRESSSCOPE エンジン)/vPro(Common)] 、 も し く は [BMC(EXPRESSSCOPE エンジン)/iLO/vPro(Common)]の[管理]が「登録<有効>」になります。



3. 管理対象マシンの[マスタマシン登録]の操作を実行

- SSC の Web コンソールの[運用]ビュー/[ホスト一覧]上で対象のホストをチェックし、管理対象マシンの再割り当ての操作として、[個別操作]→[マスタマシン登録]を実行します。割り当てるマシンは、手順「2. 管理対象マシンの[割り当て解除]の操作を実行」で割り当て解除したマシンを選択します。
- マスタマシン登録の処理中に、ESMPRO/SM へ管理対象マシンの登録の処理が実行されます。

4. ESMPRO/SM の登録状態の確認

- ESMPRO/SM の WebGUI にログインし、管理対象マシンの登録状態を確認します。マネージメントコントローラ管理を有効にしている場合は、[設定]タブの[BMC(EXPRESSSCOPE エンジン)/vPro(Common)]、もしくは[BMC(EXPRESSSCOPE エンジン)/iLO/vPro(Common)]の[管理]が「登録<有効>」になっていることを確認してください。
- オペレーションウィンドウを起動し、管理対象マシンの登録状態を確認します。

上記の[マシンを解体しないで未稼働にする]のオプションを指定した[割り当て解除]の操作では、管理対象マシンに関連して、以下の処理が行われます。

他のオプションを指定した時に行われる管理対象マシンに対する電源制御やストレージ制御などのプロビジョニング処理は実行されず、最低限の処理しか行われなため、簡易に自動登録の確認を行うことが可能ですが、下記処理により業務に影響が出る場合は確認作業を実施しないでください。

- ESMPRO/SM 上の管理対象マシンの登録が削除されます。削除が失敗した場合でも、割り当て解除の処理は止まりません。
- (運用グループ設定で定義がある場合、)ロードバランサに設定されたトラフィック振り分け先の設定が削除されます。処理が失敗した場合も、割り当て解除の処理は止まりません。

[割り当て解除]の操作を行った後、[マスタマシン登録]の操作を実行すると、上記と逆の処理が実行されます。

5.SSC からの BMC 自動登録について

SSC3.6u1 以降では、BMC 自動登録の対応機種について、以下の操作の際に、ESMPRO/SM へのマネージメントコントローラ管理の自動登録が可能です。後述の設定を行っている場合は、ESMPRO/SM へのマネージメントコントローラ管理の手動登録の作業は不要です。

- リソース割り当て
- マスタマシン登録
- マシンの用途変更
- スケールアウト
- マシンの置換(N+1 リカバリ)

BMC 自動登録の対応機種は、以下の通りです。

- Express5800/R120h-2M, R120h-1M 以降の Express5800/R1xx

上記機種の場合は、SSC の Web コンソールの[リソース]ビューで対象のマシンを選択し、マシンプロパティの[アカウント情報]タブで[追加]をクリックして、次の図のように、OOB タイプのアカウントを登録してください。接続先は、管理対象マシンの BMC の IP アドレスを指定します。

登録したアカウント、パスワードは、ESMPRO/SM のマネージメントコントローラ管理の[BMC(EXPRESSSCOPE エンジン)]、また[iLO]の[ユーザ]、[パスワード]に設定する情報として使用されます。

また、本設定は、SSC の OOB 管理機能の設定として、SSC が直接 BMC にアクセスする際にも使用されます。

ESMPRO/SM に登録するまでの一連の操作の例については、「[4.SSC の自動登録の動作の確認方法（15 ページ）](#)」を参照してください。

マシンプロパティ設定

全般 ネットワーク ストレージ ソフトウェア ソフトウェア配布履歴 **アカウント情報** カスタム

アカウント一覧

[追加](#) [一括接続確認](#) [削除](#)

<input type="checkbox"/>	タイプ	接続状態	接続先	ユーザ名	編集	接続確認
<input type="checkbox"/>	OOB	接続可能	192.168.50.216	Administrator		

戻る

6.ESMPRO/SM の手動登録を利用する運用の問題点について

SSC の自動登録の機能を使用せず、ESMPRO/SM に手動で管理対象マシンを登録する運用を行う場合、SSC のポリシー動作が正常に動作しない場合があります。SSC の自動登録の機能を利用して運用するようにしてください。

【発生現象、条件】

ESMPRO/SM が管理対象マシンの障害を検出した時に、ポリシーのアクションが実行されない場合があります。

「N+1 リカバリ」による切り替え、またはマシンの置換など、「N+1 リカバリ」と同等の操作を行った後、上記現象が発生します。

【原因】

切り替えにより、ESMPRO/SM 上の管理対象マシンの UUID と、実際の管理対象マシンの UUID が一致しない状況が発生します。UUID が一致していない場合、障害が発生した管理対象マシンを認識できなくなるため、ポリシー動作が正常に実行できなくなります。

SSC の自動登録を利用している場合は、切り替え時に ESMPRO/SM に登録されている管理対象マシンの情報が更新されるため、現象は発生しません。